

科目名	創造演習ⅣA	英語科目名	Creative PracticeⅣA
開講年度・学期	平成28年 前期	対象学科・専攻・学年	建築学科 4年
授業形態	演習	必修 or 選択	必修*
単位数	2	単位種類	学修単位(演習)
担当教員	永盛(担当横内) 佐藤(篤), 中山, 尾立	居室(もしくは所属)	永盛(横内) 建築棟3F 佐藤: 建築棟3F 中山: 建築棟2F 尾立: 建築棟1F ギャラリー内
電話	横内内 837, 中山内 832 佐藤内 833, 尾立内 835	E-mail	yokouchi@小山高専ドメイン nakayama@同ドメイン, a-sato@同ドメイン oryu@同ドメイン
授業の到達目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE基準
前半は測量演習を、後半はAB2グループに分け環境実験と環境設計とを並行して行う。			
前半は永盛(非常勤講師)、後半は佐藤(篤)・中山・尾立が担当する			
測量: 建築工事測量に必要な器具、測設方法を理解し、測量できる。	④	A	d-1
環境実験: 環境測定機器を利用し、屋内外の環境測定ができる	④	A	d-1
環境設計: 自然環境に配慮した建物が提案できる	④	A	d-1
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
測量: 試験結果および実習と演習の提出物を評価点とする			
環境実験			
環境設計: 提出された図面で評価する。			
評価方法			
測量: 50%内中間試験および期末試験80%、実習と演習20%			
環境実験: 25%内			
環境設計: 25%内、提出された図面の内容と完成度で総合評価する。試験は行わない。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目	自学自習時間	
1、測量概説	測量の種類、建築測量の目的、測量の誤差と精度	2	
2、距離測量	距離測量の器具の使用方法・測定方法を理解	2	
3、水準測量	水準測量の目的・用語、器械・器具の取扱い	2	
4、トランジット測量	角度の正確な読み方や三角関数の使い方	2	
5、平板測量	平板測量の目的、方法、器械器具の据付	2	
6、面積・体積の測量	ヘロンの公式を含めて土地の面積や体積の計算	2	
7、建築工事測量	建築工事測量の目的、使用器具、測設	2	
8 中間試験		2	
9、 A: ガイダンス B: 課題説明	設計はエスキース	環境測定は理論と復習	2
10、 A: 風洞・照度実験、 B: 即日設計	同上	理論・実験・即日レポート	2
11、 A: 風洞・照度実験 B 即日設計	同上	同上	2
12、 A: 即日設計、 B: 風洞・照度実験	同上	同上	2
13、 A: 即日設計、 B: 風洞・照度実験	同上	同上	2
14、 A: 換気量測定 B: 即日設計	同上	理論説明 実験	2
15、 A: 即日設計、 B: 換気量測定	同上	理論説明 実験	2
定期試験	同上		2
自学自習時間合計			30
キーワード	平板測量一放射法、地形図、土地面積、三斜法 パッシブソーラー		
教科書	建築[Ⅲ]建築構造・建築工学・建築設備・測量編 (財)職業訓練教材研究会 刊		
参考書	各種建築関連雑誌		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	応用数学 応用物理		
現学年の関連科目	建築設計Ⅱ、建築環境工学Ⅰ		
次年度以降の関連科目	建築施工、建築環境工学Ⅱ、卒業研究		
連絡事項			
測量: 野外で実習を行うので、実習をできる服装で望むこと。また、データ整理(計算)で関数電卓が必要です。環境測定は即日でデータをまとめます。必要に応じて学科PC使用			
シラバス作成年月日	平成28年2月29日		